

平成30年度第1回徳島市立図書館協議会 会議録要旨

1 日 時 平成30年8月21日(火) 14:00～15:00

2 場 所 徳島市役所 本館13階 第一研修室

3 出席者 委員 委員長 三木スズエ(家庭文庫代表)

副委員長 新 孝一(四国大学 日本文学科准教授)

委員 桑村 尚弘(渋野小学校長)

吉成 正一(市文化協会会長)

細井 啓造(市社会教育委員長)

諏訪 公子(市中央公民館運営審議会委員)

玉野 勝彦(市議会文教厚生委員会委員長)

佐藤 義忠(元富田中学校長)

板東 恵子(市婦人連絡協議会会長)

佐藤 恭規(徳島市・名東郡PTA連合会会長)

吉本 勝彦(徳島大学附属図書館館長)

事務局 市教委(社会教育課) 吉成課長、建島課長補佐、山口係長、堤主査

図書館(指定管理者) 國金館長、勝浦副館長、佐野副館長、清水チーフ

4 議 題

(1) 平成29年度の事業報告について

図書館長より説明

《質疑応答①》

委員 徳島市と同等の人口数の市や他の県庁所在地と比べて、貸出冊数・予約件数・新規登録者数はどうか。

事務局 具体的に分析したものはないが、徳島市立図書館の登録者数は、現在約12万人で、徳島市の人口の約5割弱の方が登録している。登録者のうち、昨年度1年間で約2万人が利用しており、県庁所在地の市立図書館としては、利用が登録者の10%に満たないため、少し利用率が低いと思われる。図書館の魅力情報を発信しながら新規開拓していきたいと考えている。

《質疑応答②》

委員 利用者の年齢別の割合はどうか。

事務局 男女比率では、女性の方が多く来られている。男性3割、女性7割くらいで、30～40代の女性の方が非常に多く来られている。この方々の人口に対する利用率は、8%くらいで、ヘビーユーザーの方が年間平均20回弱くらい来られているのではないと思われる。小学生の利用率は20%くらいで、5人に1人は利用していることになる。60代の男性の利用は比較的多い。

委員 中高生はどうか。

事務局 中高生の利用は非常に少ない。しかし、YA(ヤングアダルト＝中高生のこと)ボランティアは非常に増えており、過去最大人数の40名弱になっている。図書館に興味のある方はいるが、全体数で見ると図書館に来ることは少ない。塾や部活動などで時間がとれないことが原因だと思われる。

(2) 平成30年度の事業活動について

図書館長より説明

《質疑応答①》

委員 ソーシャルネットワーキングサービス(以後、SNS)を、フェイスブックに決めた理由は何か。

事務局 弊社の受託館を見ると、フェイスブックを使用している図書館が一番多い。登録する際に正式な名称などを登録しないとオープンできないため、選んだ。

《質疑応答②》

委員 色々な事業を行うにあたり、図書館関係者やボランティアの協力があると思うが、図書館には大きく分けるとどのようなボランティアがあるのか。

事務局 おはなし会・対面朗読サービスのボランティアの方がいらっしゃる。

委員 おはなし会はボランティアグループが行っているのですが、個人では入っていけないのではないかと。

事務局 その場合はおはなし会のボランティアグループにご紹介させていただいている。

委員 グループに入らずにできるものはないか。

事務局 赤ちゃんに絵本を紹介するブックスタートボランティアであれば、当館で行っているブックスタートボランティア講座を受けてもらえれば個人の方でもボランティア活動を始めることができる。対面朗読サービスボランティアは、対面朗読の講座を受けたことのある方をお願いしている。今後は当館でも講座を開き、受講された方にボランティアの募集をかけることを考えている。

《質疑応答③》

委員 レファレンスサービスで、子どもが昆虫や幼虫を捕まえて図書館に持って行ったら、調べてくれるということを本で読んだことがあるが、そのようなこともしているのか。

事務局 実際に昆虫や幼虫を持って来られたことはないが、植物を持って来られたことはあり、図鑑と一緒に調べたことがある。昆虫の場合でもレファレンスとして図鑑や図書館にある本と一緒に調べることはできる。

委員 徳島市立図書館の場合、レファレンスサービスは全体のごく僅かであるか。
事務局 受付は常時しているが、特殊なレファレンスは少ない。
委員 そういう本を読み、図書館は幅広いことをしているのだと知った。
事務局 図書館のレファレンスは、答えを教えるのではなく、どの本を見るか、本に載っていないければインターネットを見てみるなど、どのように調べるかの手法をお伝えしている。

《質疑応答④》

委員 前回の会議で、図書館の情報発信として SNS を活用してはどうかと提案させていただいた。さっそく取り組んでいただけて嬉しく思っている。フェイスブックは色々な SNS の中でも身元が確認されており、利用者も多いので情報発信手段として良いと思う。今後ぜひ活用してもらいたい。
委員 新聞（広報とくしま）の記事にオンライン音楽図書館を徳島市立図書館でやっていると見たが、先ほどの音楽配信と同じか。
事務局 ナクソスマュージックライブラリーのことである。図書館に来ていただき、ID とパスワードを発行する。それを使ってクラシックなどの音楽を聞くことができる。
委員 家で聞くことができるのか。
事務局 聞くことができる。スマートフォンにも対応しているので自由に聞いていただける。ID とパスワードは、発行してから1ヵ月間有効なので、期限が過ぎたら図書館に来ていただき、再発行することになる。

《質疑応答⑤》

委員 電子図書館のコンテンツという言葉についてタイトルや、コンテンツなどの表記があるが、1タイトルが1蔵書数ということなのか。コンテンツとはどのような意味か。
事務局 1タイトルに何冊か同じものが所蔵されているものもある。1コンテンツが1タイトルと同じ意味である。
委員 これから電子図書館の利用も増えると思われる。図書館の利用者として、図書館に来て活用する人とインターネットで活用する人とトータルで図書館の利用者数を算定した方が良いのではないか。
事務局 電子図書館の利用統計を取っているので、今後は利用がわかる資料を提供し、委員の方に説明できるようにさせていただく。

《質疑応答⑥》

委員 平成30年度の事業計画を見ると、子ども向けのサービスに力を入れているのがわかるが、子どもの数が減っており、全国的に子どもの利用が少なくな

っていると言われているようだが徳島市はどうか。

事務局 利用総数としては、他の年齢層より少ないが、人口比で約2割のお子さんが利用しているので、お子さんの利用率は多いのではないかと思う。

《質疑応答⑦》

委員 ブックスタートで差し上げる本は、どのように選んでいるのか。

事務局 ブックスタートを行っている「NPO ブックスタート」がおすすめしている本があり、その中から選書している。徳島市では3冊をお渡ししており、同じものではなく、毎年選び直している。

委員 3冊お渡ししているとかかなりの予算になると思うが。

事務局 指定管理料に含まれている。

《質疑応答⑧》

委員 読書記録帳について、記録帳には通帳のように過去に借りたものも記録できるのか。

事務局 本を返却するとデータが消去されるので、返却する前に記録してもらいたい。

委員 以前にも質問したが、自分が過去に借りたものを知りたいが、個人情報のことであって、データを保存していないのだと思う。いつも読書記録帳を持っていれば良いが、たまたま行って借りることもあるので聞いた。

委員 自分が残したい本だけを記録している方もいる。

委員 その場合、返却は図書館のカウンターでしないといけないのか。

事務局 ポストではなく、カウンターで返却していただいた方が良い。

(3) その他

特になし